



## 鉄スクラップ利活用拡大に向けた 経済産業省・サーキュラーパートナーズ(CPs)の「鉄鋼 WG」新設について

一般社団法人日本鉄鋼連盟が、一般社団法人特殊鋼倶楽部、普通鋼電炉工業会、一般社団法人日本鉄リサイクル工業会とともに鉄スクラップの利活用拡大を進める活動が経済産業省・「サーキュラーパートナーズ(CPs)(\*1)領域別ビジョン・ロードマップ検討WG(\*2)」として正式に採択され、昨日、「鉄鋼 WG」が新設されました。

我が国の 2050 年カーボンニュートラル実現に貢献すべく、日本鉄鋼業は現在、水素還元製鉄等の超革新的技術開発等、様々な取組みを複線的に推進しております。この中で鉄スクラップは、これまで以上に不可欠かつ貴重な循環資源としての役割を担うことになることから、その利活用の拡大に向けた諸施策の検討と実現に向け、2023 年 9 月より日本鉄鋼連盟のもと連携協力 3 団体が CPs に参画しております。

新設された「鉄鋼 WG」において、日本鉄鋼業界(動静脈産業)全体で高品位鉄スクラップの創生・循環・利活用拡大等のためのロードマップを策定することで、必要とする調査や研究開発に係る政府支援を得て、業界一丸となってサーキュラーエコノミー(CE)構築の実現に向けた事業活動の推進が可能となります。

このような活動により、鉄スクラップのリサイクルを取り巻く諸課題(不適正ヤード対応等を含む)の解決に加え、鉄連のカーボンニュートラル行動計画の達成、経済安全保障の強化ならびに日本鉄鋼業界(動静脈産業)全体の産業競争力強化に資するのみならず、品質要求の厳しい高級鋼を用いる製造業等の CE 構築が進展することが期待されます。

「鉄鋼 WG」での活動を通じ、関係 4 団体は、日本鉄鋼業界(動静脈業界)全体で、日本の GX グリーントランスフォーメーション)推進や CE 構築に貢献して参ります。

(\*1)サーキュラーパートナーズ(CPs):

2023 年 3 月に策定した「成長志向型の資源自律経済戦略」に基づき、CE の実現を目指し、産官学の連携を促進するために経済産業省が設立したパートナーシップ

(\*2)領域別ビジョン・ロードマップ検討 WG:

2030 年、2050 年を見据えた日本全体の CE の実現に向けたビジョンや中長期ロードマップの策定を目指すべく CPs のもとに設置された「ビジョン・ロードマップ検討 WG」の領域別サブ WG

本件に関する問合せ先:

一般社団法人 日本鉄鋼連盟 総務部 総務・秘書・広報グループ TEL: 03-3669-4822